

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1201045

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12 学校教育の充実	事業優先度	A	
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	新学習指導要領に伴う備品整備事業	見直し年度		
事業期間	平成23年度～平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	学校施設の適切な維持・管理	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	2校	関係例規・法令名		
住民参加	2	関係個別計画名		
住民協働				

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	雄武小学校及び雄武中学校における児童用机・椅子を新学習指導要領の本格実施に伴う教科書の大判化に合わせて更新する。			雄武小学校机・椅子購入		雄武中学校机・椅子購入
計 画 事 業 費	事業費(千円)	7,609	0	0	4,124	0
財 源 内 訳	国庫支出金	4,124			4,124	
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	3,485				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	7,432	0	0	4,124	0
財 源 内 訳	国庫支出金	4,124			4,124	
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	3,308				
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 【評価・実績】	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) 机・椅子175組購入 ※1年前倒し実施 ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 机・椅子130組購入 ※前年度評価結果
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値		1校		1校
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	#DIV/0!
		全体達成率	0%	0%	54%	54%
		事業進捗状況		☆☆☆☆		☆☆☆☆

事業名	新学習指導要領に伴う備品整備事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課	課長 横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係	係長 武藤知憲

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	生徒	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	新学習指導要領の改訂に伴う生徒用機の購入数
【抱える課題やニーズは】	新学習指導要領の改訂に伴い、生徒用の機等の更新を行う必要がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	新学習指導要領の改訂に対応するため、生徒用の機等を更新する。	① 機等の購入数	目標年度 平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生徒が安心して授業を受けられる学習環境の充実を図る。		目標値 130脚
			実績値 130脚
			達成度 100.0%
		②	目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	生徒全員分の機等の更新	入札による契約を締結し、取扱業者から機等を購入しています。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	新学習指導要領の改訂に伴い、使用していた機等では、支障をきたすため、生徒が安心して授業を受けるためにも事業の実施は必要であると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	生徒全員分の機等が更新されており、新学習指導要領の改訂に伴う学習環境を整備することができていると判断します。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	機等の購入にあたっては、将来的な児童数を勘案し、必要最小限の数量としています。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

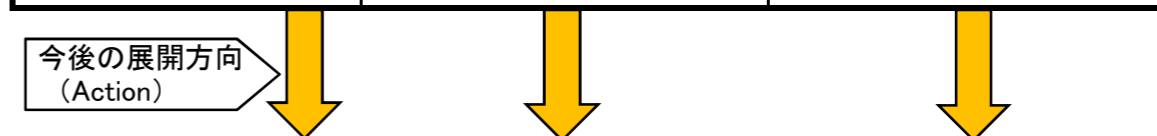
公平	判断の理由	生徒全員が使用する機等を購入しているため、公平性が保たれていると判断します。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
新学習指導要領の改訂に伴う機等の更新について、計画どおり事業が進んでいます。		



終了		
新学習指導要領の改訂に伴う備品整備については、完了しましたので終了とするものであります。		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止